

エコアクション21 環境活動レポート



第5版

(平成30年8月20日発行)

運用期間：平成29年4月～平成30年3月

 快適な暮らしを創造する
OKAMURA 株式会社 オカムラ
TEL:0964-33-0131 FAX:0964-33-0985

I. 環境方針および行動指針

環境方針

株式会社 オカムラは、事業活動を通じ、安心・安全・安定した地域社会実現のため環境に関する行動指針を定め、完遂に向け邁進します。

行動指針

環境方針の実現に向けて以下のことを行動指針と致します。

1. 循環型社会の構築に向け、先進技術の導入等によりリサイクル率を向上させ廃棄物排出量及び総排水量の抑制を行います。
2. 作業の安全に心掛け、火気・臭気・排水に細心の注意を払い環境の汚染を防止します。
3. 環境関連法令等を遵守し、社内及びお客様・地域のみなさまが安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. エコドライブや節電を実践し、二酸化炭素排出量の抑制に取り組みます。
5. 環境に配慮した製品や資機材の購入を推進します。
6. 化学物質を適正に管理します。
7. この環境方針を全社員に配布及び掲示し、環境への意識高揚を図るとともに、職場以外においても、行動指針を順守します。

改訂日：平成 25 年 1 月 5 日

株式会社 オカムラ

代表取締役

岡村健志

目次

I. 環境方針および行動指針	3
目次	4
II. 組織概要	6
1. 事業所概要	6
2. 社有地（対象事業所）	7
◆ 本社事務所	7
◆ 社員駐車場①	7
◆ 本社ビル管理係倉庫・車庫	7
◆ リサイクル事務所	7
◆ リサイクルセンター	7
◆ 社員駐車場②	7
◆ リサイクル課駐車場	7
◆ 保全課倉庫・作業場	7
◆ 熊本南営業所（クリクラ熊本）	7
◆ 対象事業所位置図	8
◆ 対象事業所位置図（熊本南営業所）	9
3. 組織図	10
4. 環境管理責任者氏名及び連絡先	10
5. 事業内容	11
◆ 一般廃棄物収集運搬業務	11
◆ 産業廃棄物収集運搬業務	12
◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務	13
◆ 一般廃棄物中間処理業務	13
◆ 産業廃棄物中間処理業務	14
◆ 産業廃棄物処理実績	14
◆ 処理工程図	15
III. 環境マネジメントシステム運営	21
1. 適用範囲	21
2. 実施体制	22
3. 役割分担表	23
4. 環境目標	24
◆ 中期（3か年）環境目標（平成29年度～平成31年度）	24
5. 環境活動計画	25
6. 環境目標の実績	26
7. 環境活動計画の取組状況とその判定	27
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	28

9.	取組結果とその評価、次年度の取組内容	28
◆	電力使用量の削減	28
◆	化石燃料使用量の削減.....	28
◆	水使用量の削減	28
◆	一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量削減	28
◆	受託産業廃棄物（中間処理）のリサイクル率100%推進	28
◆	グリーン購入率の向上.....	29
◆	化学物質の適正管理	29
◆	社会貢献・清掃活動実施	29
10.	代表者による全体評価と見直しの結果.....	29

II. 組織概要

1. 事業所概要

事業所名 株式会社オカムラ
代表者 代表取締役 岡村 健志
住所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
TEL 0964-33-0131
設立年月日 昭和61年5月16日
従業員 183名
資本金 1,000万円

事業内容（認証登録対象範囲）

<環境部_リサイクル課>

一般・産業廃棄物収集運搬業務

一般・産業廃棄物中間処理業務

<総合管理部_施設管理課>

ビル清掃業務

貯水槽・配水池清掃業務

給水装置管理業務

一般建設業務

管洗浄業務

<環境部_保全課>

工業排水処理施設維持管理業務

下水道維持管理業務

農業排水処理施設維持管理業務

浄化槽管理業務

し尿汲み取り業務

衛生器具レンタル業務

<総務営業部_営業課>

飲料水販売業務

<総合管理部_指定管理課>

公共施設指定管理業務 ※対象範囲外

売上高 946,476千円（平成29年4月～平成30年3月）

※事業会計年度について

平成28年10月より事業会計年度を、毎年度4月～3月から10月～9月に変更しました。

※事業会計年度とエコアクションの取り組み年度について

エコアクションの取り組みは、4月から3月でまとめます。

売上についても同様に、4月から3月で計上することとします。

2. 社有地（対象事業所）

◆ 本社事務所

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
T E L 0964-33-0131
F A X 0964-33-0985
延べ床面積 497.70㎡
管 理 者 勝木 憲一

◆ 社員駐車場①

住 所 熊本県宇城市松橋町久具財間 1954
面 積 680.00㎡
管 理 者 前田 光也

◆ 本社ビル管理係倉庫・車庫

住 所 熊本県宇城市松橋町久具財間 1953-1
延べ床面積 321.00㎡
管 理 者 前田 光也

◆ リサイクル事務所

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1821-1
T E L 0964-27-8686
F A X 0964-27-8700
延べ床面積 2,097.00㎡
管 理 者 竹口 功

◆ リサイクルセンター

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1822-1
T E L 0964-27-8686
F A X 0964-27-8700
延べ床面積 512.83㎡
管 理 者 橋本 憲史

◆ 社員駐車場②

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1800
面 積 502.00㎡
管 理 者 竹口 功

◆ リサイクル課駐車場

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 3088
面 積 898.80㎡
管 理 者 木村 泰久

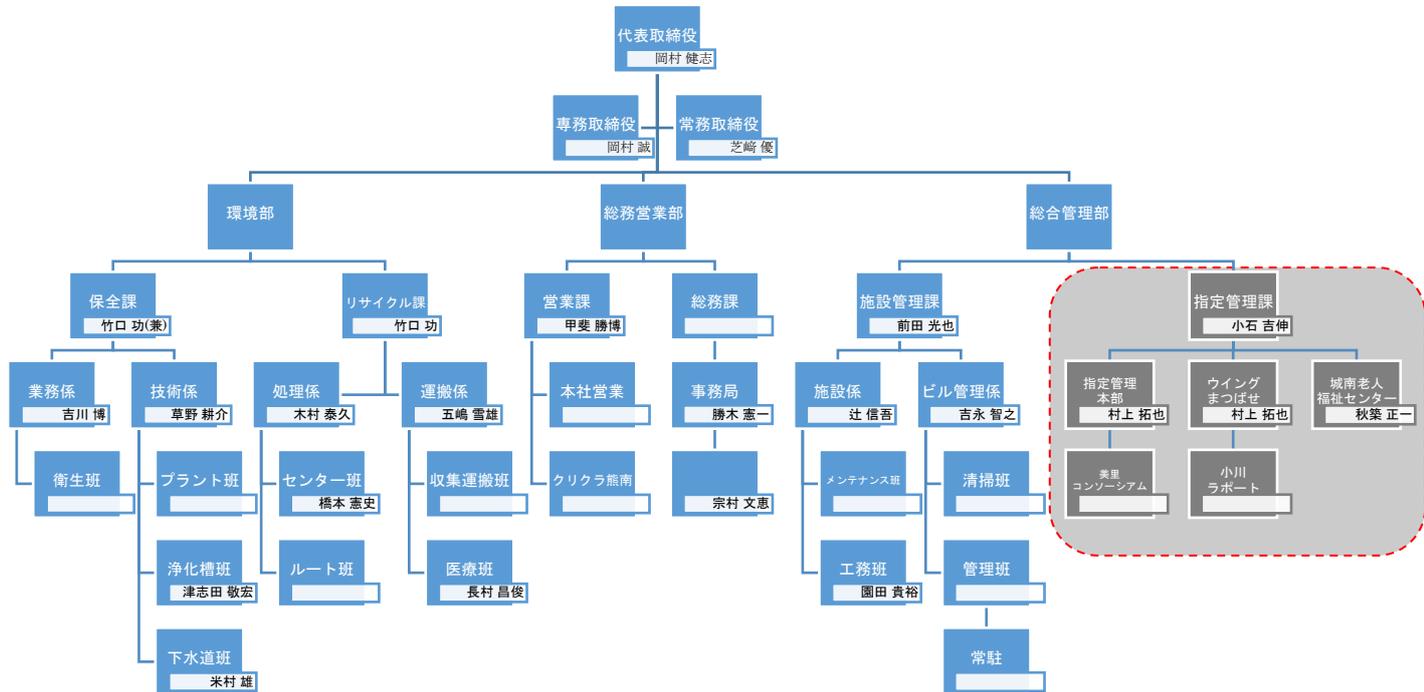
◆ 保全課倉庫・作業場

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1707-2
延べ床面積 331.43㎡
管 理 者 吉川 博

◆ 熊本南営業所（クリクラ熊南）

住 所 熊本県熊本市南区富合町志々水 191
T E L 096-358-4466
F A X 096-358-4467
延べ床面積 105.00㎡
管 理 者 甲斐 勝博

3. 組織図



※指定管理業務を行っている『ウイングまつばせ・小川レポート・城南老人福祉センター』は、対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

4. 環境管理責任者氏名及び連絡先

・環境管理責任者

常務取締役 芝崎 優

TEL : 0964-33-0131

FAX : 0964-33-0985

・副環境管理責任者

課長 竹口 功

TEL : 0964-33-0131

FAX : 0964-33-0985

5. 事業内容

◆ 一般廃棄物収集運搬業務

許認可等の種類	許認可番号等	登録車両番号	
一般廃棄物収集運搬業	【熊本市】 第 18R-140 号	熊本 800 す 9352 熊本 46 と 7767	熊本 800 せ 909
	【宇城市】 宇城市環第 1362-9 号 ※し尿及び浄化槽汚泥を除く 一般廃棄物	熊本 800 す 5470 熊本 800 せ 1009 熊本 800 す 5471 熊本 800 す 7194 熊本 800 す 8386 熊本 100 す 5288 熊本 400 そ 9485 熊本 800 す 9516 熊本 100 せ 4834 熊本 100 せ 9390 熊本 100 そ 2985 熊本 800 せ 348	熊本 800 す 1265 熊本 800 す 4456 熊本 800 す 7013 熊本 800 す 7684 熊本 400 た 2669 熊本 400 と 7958 熊本 100 は 2747 熊本 800 す 5330 熊本 100 せ 4800 熊本 800 せ 1218 熊本 400 な 5330
	【宇城市】 宇城市環第 1363-3 号 ※し尿及び浄化槽汚泥	熊本 800 す 5261 熊本 800 す 4176 熊本 800 さ 8466 熊本 800 せ 278	熊本 800 せ 1091 熊本 800 さ 6518 熊本 88 す 6341
	【宇土市】 第 6 号	熊本 800 す 4456	熊本 800 せ 1009
	【氷川町】 氷町許可第 30-3 号	熊本 800 す 4456 熊本 100 せ 9390	熊本 800 す 7013
	【美里町】 美里衛下第 250 号 美里衛下第 493 号 美里環衛第 51 号	熊本 100 せ 4834 熊本 800 す 5471 熊本 800 す 4456 熊本 100 は 2747 熊本 400 そ 9485 熊本 100 す 5288	熊本 800 す 5470 熊本 800 す 5330 熊本 800 す 7013 熊本 100 そ 2985 熊本 400 た 2669 熊本 100 せ 4800
	【八代市】 許可(収)第 30-6 号	熊本 800 す 5471 熊本 100 せ 9390 熊本 800 す 5470	熊本 800 す 4456 熊本 800 す 7013

◆ 産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 04300004186 号		
登録車両番号	熊本 800 す 8584 熊本 100 そ 2985 熊本 400 た 2669 熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4800 熊本 800 す 5471	熊本 400 つ 8187 熊本 800 は 1896 熊本 100 す 5288 熊本 800 す 9516 熊本 100 せ 4834 熊本 400 と 7958	熊本 100 せ 9390 熊本 400 そ 9485 熊本 100 す 7870 熊本 800 す 5330 熊本 100 は 4416 熊本 400 な 5330
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（上記のうち、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等欄の「○」印があるものについては取扱いを含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以下余白		

許認可番号等	福岡県 第 04000004186 号		
登録車両番号	熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4800	熊本 100 せ 4834 熊本 100 は 4416	熊本 100 す 7870
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等（以上 3 品目については、自動車等破砕物を除く。）、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ 以上 8 品目 以下余白		

許認可番号等	長崎県 第 04200004186 号		
登録車両番号	熊本 100 は 4416 熊本 100 せ 4800	熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4834	熊本 100 す 7870
事業区分	収集運搬業 (積替え・保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。）（これらのうち自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上 8 種類		

◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 04350004186 号
登録車両番号	熊本 800 す 9516 熊本 800 す 5330 熊本 100 せ 4800 熊本 100 せ 4834
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)
取り扱う産業廃棄物の種類	廃酸(水素イオン濃度指数が2.0以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)、廃アルカリ(水素イオン濃度指数が12.5以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)、感染性産業廃棄物

許認可番号等	福岡県 第 04050004186 号
登録車両番号	熊本 100 せ 4800 熊本 100 せ 4834
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)
取り扱う産業廃棄物の種類	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)、廃酸(水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)、廃アルカリ(水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)、感染性産業廃棄物 以上 4 品目 以下余白

◆ 一般廃棄物中間処理業務

許認可番号等	宇城市 宇城市環第 1365 号
取扱一般廃棄物の種類	し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物
選別	磁力選別機(5.0t 未満/8hr) 手選別ベルトコンベア
溶融	1 施設(発泡スチロール 320 kg/8hr)
破碎	2 施設(5.0t 未満/8hr×2 施設)
圧縮	1 施設(金属 5.0t 未満/8hr ・ 空き缶 5.0t 未満/8hr)
圧縮梱包	1 施設(廃プラ 80t/8hr)
減容	1 施設(ペットボトル 5.0t 未満/8hr)
その他	計量器×1 施設・車両(フォークリフト)×2 施設

◆ 産業廃棄物中間処理業務

許認可番号等	熊本県 許可番号 第 04320004186 号		
許可の年月日	平成 29 年 5 月 8 日		
許可の有効期限	平成 34 年 2 月 7 日		
処理方式	取り扱う産業廃棄物の種類	処理能力	
破砕	木くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	木くず	2.3 t/日 (8h)
		廃プラスチック類	3.5 t/日 (8h)
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2	設置年月日
			平成 23 年 9 月 4 日
圧縮・梱包	紙くず、繊維くず、金属くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	紙くず	740.8 t/日 (8h)
		繊維くず	106.4 t/日 (8h)
		金属くず	649.6 t/日 (8h)
		廃プラスチック類	769.6 t/日 (8h)
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1	設置年月日
			平成 23 年 9 月 4 日
分解・選別①	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、廃石膏ボード、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	1.5 t/日 (8h)	
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1	設置年月日
			平成 23 年 9 月 4 日
分解・選別②	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物、廃石膏ボード、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）	3.6 t/日 (8h)	
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2	設置年月日
			平成 23 年 9 月 4 日
減容	廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限り、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	0.32 t/日 (8h)	
	設置場所	宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1	設置年月日
			平成 23 年 9 月 4 日

廃棄物処理費につきましては、個別見積とさせていただきます。

◆ 産業廃棄物処理実績

廃棄物の収集運搬量・処分量

項 目		単 位	平成 28 年度	平成 29 年度
産業廃棄物	収集運搬量	t	1430.6	1634.8
	中間処理量	t	348.0	342.3
	うち再資源化等量	t	348.0	342.3
	最終処分量	t	0	0
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	0
	うち再資源化等量	t	0	0

◆ 処理工程図

産業廃棄物中間処理（リサイクル課）

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
排出事業者 (342.3 t)	木くず (166.8 t)	破碎	木チップ [S1] (166.8 t)	燃料メーカー (166.8 t)
	廃プラスチック類 (117.8 t)	破碎 圧縮・梱包	硬質プラチップ (117.8 t) 軟質プラプレス (0.0 t)	再生原料メーカー (117.8 t)
	紙くず (0.6 t)	選別	古紙ベール (0.6 t)	製紙メーカー (0.6 t)
	繊維くず (3.8 t)	圧縮	繊維ベール (3.8 t)	2次処理業者 (3.8 t)
	金属くず (48.7 t)	圧縮	金属プレス (48.7 t)	鉄鋼メーカー (48.7 t)
	混合物 (0.0 t)	分解選別① 分解選別②	※品目別に再選別 (0.0 t)	2次処理業者 (0.0 t) 自社行程へ (0.0 t)
	陶磁器くず (0.7 t)	選別	再生砕石 (0.7 t)	2次処理業者 (0.7 t)
	ガラスくず (4.0 t)	選別	ガラス原料 (4.0 t)	2次処理業者 (4.0 t)

※数量の誤差は異物・ロスおよび品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。
原料として概ね売却しています。

産業廃棄物収集運搬（リサイクル課）

排出者	廃棄物種類	収集運搬量	処理方法	処分先
排出事業者 (1634.8 t)	ガラス・陶磁器 (54.9 t)	(54.9 t)	選別	A社 (3.0 t)
			破碎・選別	B社 (2.4 t)
			焼却	L社 (3.1 t)
			焼却	C社 (46.5 t)
	汚泥 (954.8 t)	(954.8 t)	メタン発酵	C社 (187.2 t)
			選別	J社 (4.6 t)
			焼却	C社 (0.1 t)
			他用途原材料化	I社 (760.4 t)
			堆肥化	E社 (2.6 t)
	金属くず (48.8 t)	(48.8 t)	選別	A社 (48.1 t)
			圧縮	A社 (0.2 t)
			破碎	B社 (0.6 t)
	廃酸 (1.4 t)	(1.4 t)	焼却	C社 (1.4 t)
	廃アルカリ (4.9 t)	(4.9 t)	焼却	C社 (4.9 t)
	木くず (164.7 t)	(164.7 t)	選別	A社 (16.3 t)
			破碎	A社 (148.1 t)
	紙くず (0.6 t)	(0.6 t)	破碎	B社 (0.3 t)
繊維くず (2.1 t)	(2.1 t)	選別	A社 (0.6 t)	
		圧縮	A社 (2.0 t)	
		圧縮	F社 (0.1 t)	
廃プラ (212.7 t)	(212.7 t)	選別	A社 (27.6 t)	
		選別	B社 (1.1 t)	
		選別	L社 (6.4 t)	
		圧縮・梱包	A社 (0.3 t)	
		焼却	C社 (94.7 t)	
		破碎	A社 (69.9 t)	
		破碎	B社 (0.5 t)	
		破碎	L社 (1.4 t)	
		破碎・固化	F社 (0.9 t)	
		熔解	F社 (10.0 t)	
動植物性残渣 (47.2 t)	(47.2 t)	堆肥化	H社 (47.2 t)	
廃油 (0.0 t)	(0.0 t)	焼却	C社 (0.0 t)	
感染性廃棄物 (142.5 t)	(142.5 t)	焼却	C社 (142.5 t)	

一般廃棄物中間処理（リサイクル課）

排出者	受入品目	処理方法		出荷品目	出荷先
宇城市 委託処理分 (856.6 t) + (59千本)	アルミ缶 (25.7 t)	選別	圧縮	アルミプレス [A1]	鉄鋼メーカー (127.7 t) [A1+A2]
	スチール缶 (18.8 t)			Cプレス [B1]	鉄鋼メーカー (63.5 t) [B1+B2]
	ペットボトル (35.1 t)	選別		ペットプレス [C1]	再生原料メーカー (149.0 t) [C1+C2]
	透明びん (51.7 t)			透明カレット [D1]	再生原料メーカー (110.1 t) [D1+D2]
	茶色びん (54.9 t)			茶カレット [E1]	2次処理業者 (130.4 t) [E1+E2]
	その他の色びん (15.6 t)			その他カレット [F1]	2次処理業者 (12.8 t) [F1+F2]
	新聞・チラシ (192.5 t)	選別	圧縮 梱包	新聞プレス [G1]	製紙メーカー (495.1 t) [G1+G2]
	雑古紙 (116.1 t)			雑誌プレス [H1]	製紙メーカー (598.9 t) [H1+H2]
	段ボール (60.5 t)			段ボールプレス [I1]	再生原料メーカー (892.5 t) [I1+I2]
	生きびん (59千本)	選別		一升びん [J1]	酒造問屋 (26千本) [J1+J2]
	古布 (37.6 t)			ビールびん [K1]	酒造問屋 (81千本) [K1+K2]
	プラスチック類 (49.5 t)	選別	圧縮 梱包	ウエス [L1]	再生原料メーカー (94.2 t) [L1+L2]
	発泡スチロール (7.7 t)			軟質プラプレス [M1]	再生原料メーカー (30.6 t) [M1+M2]
	金属類 (54.3 t)	選別	圧縮	硬質プラプレス [N1]	再生原料メーカー (59.2 t) [N1+N2]
	廃食用油 (5.6 t)			PS(ワ)ット [O1]	再生原料メーカー (15.8 t) [O1+O2]
	粗大ごみ (131.0 t)			鉄 [P1]	鉄鋼メーカー (497.2 t) [P1+P2]
		選別		非鉄 [Q1]	鉄鋼メーカー (44.2 t) [Q1+Q2]
				鉄プレス [R1]	鉄鋼メーカー (18.5 t) [R1+R2]
	選別		非鉄プレス [S1]	鉄鋼メーカー (0.0 t) [S1+S2]	
			処理困難物	再生原料メーカー (7.4 t) [T1+T2]	
				宇城クリーンセンター (40.9 t)	
				※上記各項目へ	

※数量の誤差は異物・ロスおよび品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

一般廃棄物中間処理（リサイクルセンター）

排出者	受入品目	処理方法		出荷品目	出荷先		
一般持込 及び 自社回収 (2769.4 t) + (38千本) ※次頁含	アルミ缶 (114.3 t)	選別	圧縮	アルミプレス [A2]	鉄鋼メーカー (127.7 t) [A1+A2]		
	スチール缶 (39.1 t)			Cプレス [B2]	鉄鋼メーカー (63.5 t) [B1+B2]		
	ペットボトル (104.3 t)			ペットプレス [C2]	再生原料メーカー (149.0 t) [C1+C2]		
	びん類 (74.3 t)	選別		透明カレット [D2]	再生原料メーカー (110.1 t) [D1+D2]		
	飲料容器混合 (51.6 t)	選別		茶カレット [E2]	2次処理業者 (130.4 t) [E1+E2]		
	新聞紙・チラシ (266.7 t)			その他カレット [F2]	2次処理業者 (12.8 t) [F1+F2]		
	雑古紙 (317.0 t)			選別		上の各項目に含む	
	段ボール (868.7 t)					新聞プレス [G2]	製紙メーカー (495.1 t) [G1+G2]
	古紙その他 (131.0 t)					雑誌プレス [H2]	製紙メーカー (598.9 t) [H1+H2]
	一升びん (8千本)	選別		段ボールプレス [I2]	再生原料メーカー (892.5 t) [I1+I2]		
	ビールびん (29千本)			その他	2次処理業者 (34.4 t)		
	古布 (19.8 t)			一升びん [J2]	酒造問屋 26千本 [J1+J2]		
	プラスチック類 (104.8 t)	選別	圧縮 梱包	ビールびん [K2]	酒造問屋 81千本 [K1+K2]		
	発泡スチロール (8.2 t)	選別・溶融		ウエス [L2]	再生原料メーカー (94.2 t) [L1+L2]		
	鉄類 (291.6 t)	選別	圧縮	軟質プラプレス [M2]	再生原料メーカー (30.6 t) [M1+M2]		
	非鉄類 (18.1 t)	選別	圧縮	硬質プラプレス [N2]	再生原料メーカー (59.2 t) [N1+N2]		
	廃食用油 (2.4 t)	選別		PSインゴット [O2]	再生原料メーカー (15.8 t) [O1+O2]		
	雑品他 (45.0 t)			鉄 [P2]	鉄鋼メーカー (497.2 t) [P1+P2]		
	不燃ごみ (51.4 t)			鉄プレス [R2]	鉄鋼メーカー (18.5 t) [R1+R2]		
				非鉄 [Q2]	鉄鋼メーカー (44.2 t) [Q1+Q2]		
				非鉄プレス [S2]	鉄鋼メーカー (0.0 t) [S1+S2]		
				廃食用油 [T2]	再生原料メーカー (7.4 t) [T1+T2]		
				その他雑品	2次処理業者 (77.7 t)		
			不燃ごみ (ガラス他)	2次処理業者 (283.3 t)			

※次ページへ続く

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
一般持込 及び 自社回収 (2769.4 t) + (38千本) ※前頁含	木くず (83.4 t)	選別 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">破碎</div>	木くずチップ	再生原料メーカー (201.0 t)
	可燃ごみ (101.8 t)	選別	木くずその他	2次処理業者 (47.2 t)
	その他プラ (7.7 t)		可燃ごみ	宇城クリーンセンター (196.5 t)
	その他金属 (4.5 t)		その他プラ (PP他)	2次処理業者 (121.3 t)
	混合物他 (63.5 t)		その他金属 (モーター他)	鉄鋼メーカー (5.4 t)
			※上記各項目へ	※上記各項目へ

※数量の誤差は異物・ロスおよび品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

一般廃棄物収集運搬量

品目	数量 (t)
飲料容器類	180.7
古紙類	718.7
生きビン類	394本
鉄類	27.8
非鉄類	7.7
木くず類	31.8
可燃ごみ	19.8
プラスチック類	52.0
不燃物類	17.7
その他金属	0.3
混合物他	19.1
家電リサイクル品	699台

※持込を除く自社運搬量

● 許可一覧

許認可等の種類	許認可等番号	有効期限	
建築物飲料水貯水槽清掃業	熊本県 10 貯第 2 号	H28.10.01~H34.09.30	熊本県
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 16 総第 3 号	H28.10.01~H34.09.30	熊本県
建築物ねずみ昆虫等防除	熊本県宇保 21 ね第 1 号	H27.06.30~H33.06.29	熊本県
浄化槽保守点検業	熊本県知事 (28) 第 101 号	H28.10.01~H31.09.30	熊本県
浄化槽清掃業	宇城市環第 1364-2 号	H30.04.01~H32.03.31	宇城市
産業廃棄物収集運搬業	第 04300004186 号	H28.07.12~H35.07.04	熊本県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 04350004186 号	H30.07.04~H37.06.29	熊本県
産業廃棄物収集運搬業	第 04000004186 号	H25.09.13~H30.09.12	福岡県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 04050004186 号	H25.09.03~H30.09.02	福岡県
産業廃棄物収集運搬業	第 04200004186 号	H30.04.25~H35.04.24	長崎県
産業廃棄物処分業 (中間処理)	第 04320004186 号	H29.05.08~H34.02.07	熊本県
一般廃棄物処理業 (中間処理)	宇城市環第 1365 号	H30.04.01~H32.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 18R-140 号	H30.04.01~H32.03.31	熊本市
一般廃棄物収集運搬業 ※ ₁	宇城市環第 1362-9 号	H30.04.01~H32.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業 ※ ₂	宇城市環第 1363-3 号	H30.04.01~H32.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 6 号	H30.06.01~H32.05.31	宇土市
一般廃棄物収集運搬業	氷町許可第 30-3 号	H30.07.01~H32.06.30	氷川町
一般廃棄物収集運搬業	美里衛下第 250 号	H29.04.01~H31.03.31	美里町
一般廃棄物収集運搬業	許可 (収) 第 30-6 号	H30.04.01~H32.03.31	八代市
一般建設業	許可 (般 - 28) 第 18081 号	H28.09.12~H33.09.11	熊本県
古物商	第 931170000898 号	H21.03.03	熊本県

※₁ し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物

※₂ し尿及び浄化槽汚泥

● 施設等の状況

(車両の種類と台数)

車両の種類	台数	車両の種類	台数
塵芥車	13台	清掃車	6台
バン	23台	糞尿車	7台
冷凍冷蔵車	5台	ダンプ	1台
脱着装置付コンテナ専用車	8台	キャブオーバ	15台
ユンボ	3台	フォークリフト	3台
その他	4台		

計：88台 (平成30年5月31日現在)

III. 環境マネジメントシステム運営

1. 適用範囲

下記の当社全サイトにおける、全組織、全事業、全従業員を対象範囲とする。

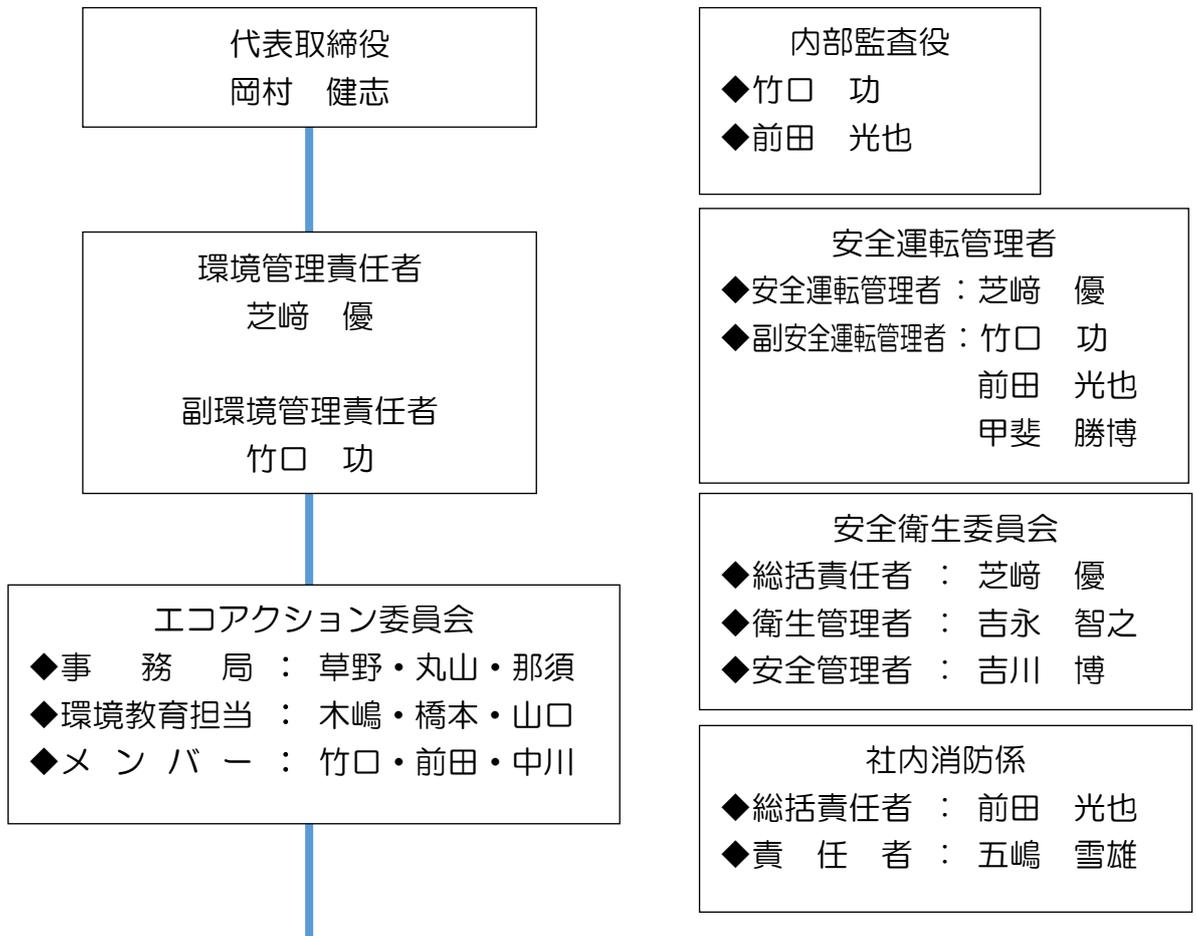
- 本社事務所
：保全課、施設管理課、営業課、総務課
- 社員駐車場①
：保全課、施設管理課、営業課、総務課
- 本社ビル管理係倉庫・車庫
：施設管理課
- リサイクル事務所
：リサイクル課
- リサイクルセンター
：リサイクル課
- 社員駐車場②
：リサイクル課
- リサイクル課駐車場
：リサイクル課
- 保全課倉庫・作業場
：保全課・リサイクル課
- 熊本南営業所
：クリクラ熊南

<適用除外>

下記のサイト及び事業部は業務の性質上、第三者の所有施設内での業務となるため、適用除外とする。
ただし、その業務の運営においては環境マネジメントに準じた運営を行うものとする。

- ウイングまつばせ
：総合管理部_指定管理課
- 小川ラポート
：総合管理部_指定管理課
- 熊本市城南老人福祉センター
：総合管理部_指定管理課
- 各常駐清掃受託施設
：総合管理部_指定管理課

2. 実施体制



	電気担当	燃料担当	水道担当	排水担当	廃棄物担当	グリーン 購入担当
リサイクル課	深井	深川	山田	山田	木嶋	丸山
リサイクルセンター (リサイクル課) ※ ₁	橋本	坂田	中村	中村	豊岡	—
保全課	結島	石川	中川	津志田	徳永	—
施設管理課	今元	吉永	鎌瀧	鎌瀧	西小路	—
指定管理課 ※ ₂	小石	村上	内田	内田	河野	槌田
総務課・営業課 (本社事務所)	勝木	宗村	木下	淵上	前田	松本
熊本南営業所 (クリクラ熊南)	那須	栄永	澤谷	澤谷	川上	—

※₁ リサイクルセンター…リサイクル課ですが作業場が完全別棟のため各担当を分けております。

※₂ 指定管理課…対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

3. 役割分担表

代表取締役	<p>環境経営に関する統括責任</p> <p>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</p> <p>環境管理責任者の任命</p> <p>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</p> <p>環境目標・環境活動計画書を承認</p> <p>代表者による全体の評価と見直しを実施</p> <p>環境活動レポートの承認</p>
環境管理責任者	<p>EA21 委員会の委員長として委員会の運営</p> <p>環境経営システムの構築、実施、管理</p> <p>環境関連法規等の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底</p> <p>環境目標・環境活動計画書の確認</p> <p>環境活動の取組結果を代表者へ報告</p> <p>環境活動レポートの確認</p>
EA21 委員会	<p>環境管理責任者の補佐 / 環境活動目標及び年間計画の検討</p> <p>環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</p> <p>環境関連文書及び記録の作成管理</p> <p>環境活動計画の実施・実績集計及び達成状況の報告</p> <p>従業員に対する教育訓練の実施、記録の作成</p> <p>環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施</p> <p>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</p> <p>環境活動レポートの作成、公開 / その他 EA21 に関する業務</p>
事務局	<p>関係者（各部門責任者、事務担当者等）を適宜召集し環境経営システムの運用上必要となる諸事項に対応</p> <p>環境経営システム運用状況の把握、課題整理</p> <p>EA21 委員会での検討内容の計画立案</p>
内部監査役	環境経営システムの適合性及び運用状況の監査
安全衛生委員会	従業員の危険又は健康被害を防止するための対策を講じる
安全運転管理者	車両管理、事故防止、事故後の対応及び安全運転に関する指導、教育
環境教育担当	全従業員に対して環境方針の周知を図るとともに環境教育を計画的に行う
電気担当	担当部署に対し部署毎に電気の節約を呼びかける
燃料担当	担当部署に対し部署毎に燃料（ガソリン、軽油、灯油）の節約を呼びかける
水道担当	担当部署に対し水の節約を呼びかける
排水担当	担当部署の排水状況を定期的に確認する
廃棄物担当	担当部署に対しごみの分別、削減を呼びかける
グリーン購入担当	再生原料を使用したものを選定しグリーン購入を推進する
全従業員	<p>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</p> <p>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動を推進</p>

4. 環境目標

◆ 中期（3か年）環境目標（平成29年度～平成31年度）

（事業年度：4月～3月）

環境目標項目		単位	平成28年度 （実績・基準）	平成29年度 （目標）	平成30年度 （目標）	平成31年度 （目標）
電力使用量の削減		Kwh	132,119	132,119	130,798 （1%削減）	129,477 （2%削減）
化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	40,487	40,487	40,082 （1%削減）	39,677 （2%削減）
	軽油	L	132,130	132,130	130,809 （1%削減）	129,487 （2%削減）
CO ₂ 排出量削減		Kg-CO ₂ /	511,270	511,270	506,157 （1%削減）	501,045 （2%削減）
水の使用量の削減 ※洗車は井水利用		m ³	639	639	633 （1%削減）	626 （2%削減）
一般廃棄物の排出量削減		t	2.9	2.9	2.9 （1%削減）	2.8 （2%削減）
受託産業廃棄物の リサイクル率100%推進		%	100	100	100	100
グリーン購入率の向上		%	再生原料を使用した商品を選定する	100	100	100
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
社会貢献・清掃活動実施		回	2	2	2	2

※ 電力の排出係数：平成23年（0.525kg-CO₂/kwh）を使用

5. 環境活動計画

環境活動計画と部署毎の実施項目

環境目標項目	環境活動計画 (具体的活動)	適用範囲							適用 除外	
		リサイクル課	リサイクルセンター	保全課	施設管理課	営業課	熊本南営業所 (クリクラ熊本)	総務課	指定管理課 各常駐先	
電気使用量の削減	ノー残業デー実施 (毎月 第2・3水曜)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	不要な照明とエアコンは使用しない	○	○	○	○	○	○	○	△	
	エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時 28℃、暖房時 20℃に設定する(温度計設置)	○	○	○	○	○	○	○	△	
化石燃料使用量の削減	ガソリン	急発進・急ブレーキをしない	○	○	○	○	○	○	○	—
		給油量及び走行距離の把握・記録	○	○	○	○	○	○	○	—
	軽油	急発進・急ブレーキをしない	○	○	○	○	—	—	—	—
		給油量及び走行距離の把握・記録	○	○	○	○	—	—	—	—
水使用量の削減 ※洗車は井水利用	水道メーターの定期確認	○	○	—	—	—	—	○	○	
	こまめな蛇口の開閉	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般廃棄物の排出量削減	パットポット、トイレットペーパー、ビニール袋の分別徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	
受託産業廃棄物のリサイクル率100%の推進	排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	○	○	—	—	—	—	—	—	
グリーン購入率の向上	コピー用紙	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○	
	トイレットペーパー	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○	
化学物質の適正管理	購入前に化学物質含有量等の確認を行う	—	—	○	○	—	—	—	—	
	保管状況の確認を定期的に行う	—	—	○	○	—	—	—	—	
社会貢献・清掃活動実施	積極的かつ計画的に取り組む	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：実施 △：出来るだけ実施 ▽：間接実施

※指定管理課および各常駐先については適用範囲外ですが、環境に配慮した運営を行っております。

6. 環境目標の実績

平成29年度環境目標の実績

(事業年度：4月～3月)

環境目標項目		単位	平成28年度 (実績・基準)	平成29年度 (目標)	平成29年度 (実績)	平成29年度 (目標達成率)
電力使用量の削減		Kwh	132,119	132,119	134,774	98%
化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	40,487	40,487	35,060	115%
	軽油	L	132,130	132,130	120,694	109%
	灯油	L	430	—	412	—
	LPガス	Kg	36	—	56	—
CO ₂ 排出量削減		Kg-CO ₂ /	511,270	511,270	470,070	109%
水の使用量の削減 ※洗車は井水利用		・	639	639	559	114%
一般廃棄物の排出量削減		t	2.9	2.9	2.1	138%
受託産業廃棄物のリサイクル率100%推進		%	100	100	100	100%
グリーン購入率の向上		%	再生原料を使用した 商品を選定する	100	100	100%
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	—
社会貢献・清掃活動実施		回	2	2	2	100%

※電力の排出係数：平成23年(0.525kg-CO₂/kwh)を使用

7. 環境活動計画の取組状況とその判定

評価期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

判定： ○：できた △：不足 ×できていなかった

環境目標項目	環境活動計画 (具体的活動)	適用範囲							適用除外	
		リサイクル課	リサイクルセンター	保全課	施設管理課	営業課	熊本南営業所 (クリクラ熊本)	総務課	各常駐先	指定管理課
電気使用量の削減	ノー残業デー実施 (毎月 第2・3水曜)	○	○	○	△	○	○	○	○	—
	不要な照明とエアコンは使用しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時 28℃、暖房時 20℃に設定する(温度計設置)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
化石燃料使用量の削減	ガソリン	急発進・急ブレーキをしない	○	○	○	○	○	○	○	—
		給油量及び走行距離の把握・記録	○	○	○	○	○	○	○	—
	軽油	急発進・急ブレーキをしない	○	○	○	○	—	—	—	—
		給油量及び走行距離の把握・記録	○	○	○	○	—	—	—	—
水使用量の削減 ※洗車は井水利用	水道メーターの定期確認	○	○	—	—	—	—	○	—	
	こまめな蛇口の閉閉	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般廃棄物の排出量削減	パットボトル・プラスチック袋の分別徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	
受託産業廃棄物のリサイクル率100%の推進	排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	○	○	—	—	—	—	—	—	
グリーン購入率の向上	コピー用紙	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	△	
	トイレットペーパー	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○	
化学物質の適正管理	購入前に化学物質含有量等の確認を行う	—	—	○	○	—	—	—	—	
	保管状況の確認を定期的に行う	—	—	○	△	—	—	—	—	
社会貢献・清掃活動実施	積極的かつ計画的に取り組む	○	○	○	○	○	○	○	○	

※除外範囲の指定管理課および各常駐先についても同様に評価を行っております。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況は特に問題なく違反、訴訟等はなかった。

9. 取組結果とその評価、次年度の取組内容

◆ 電力使用量の削減

電力削減を目的とした《ノー残業デー》朝礼の場で呼びかけを行い周知徹底することで、社員の意識が変化し取り組むことができていた。5月には計画通り、リサイクル事務所のみLED照明へ取り替えた。次年度は本社事務所建て替えに伴い、本社でもLED照明を検討している。今後も引き続き、〔不必要な照明とエアコンは使用しない〕など活動計画に掲げている活動を実施していく。

◆ 化石燃料使用量の削減

● ガソリン使用量の削減

前年と比較し使用量の削減になったのは社員全員の意識統一ができているからと考えられる。引き続きエコドライブの呼びかけを行う。また、給油量及び走行距離の把握ができるよう自社燃料管理表を一新した。今後、使用量の把握・分析資料として定期的に確認し、社員の更なる意識向上のための取り組みを考え推進していきたい。

● 軽油使用量の削減

業務量の減少に伴い使用量は減少している。車両を新車へ入替（低燃費車の導入）も少しずつ行っている。次年度も使用量の把握など全社員が意識して削減に取り組む。

◆ 水使用量の削減

前年と比較して削減できている。社員全員が節水に取り組んでいる成果と考える。引き続き継続する。

◆ 一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量削減

今年度からペットボトル・軟質プラスチックの細分別化を実施したことで、分別への意識が高まっている。次年度も引き続き、朝礼の場で分別状況の報告・呼びかけを行う。また、細分別化する品目を追加するなど、排出量削減に向けた取り組みを行っていく。

◆ 受託産業廃棄物（中間処理）のリサイクル率100%推進

受託産廃は最終処分を行わないため、リサイクル率100%を維持している（2次処理）長期的に計画し自社で最終処分（有償売却）を行えるように販路拡充や設備投資等も視野に入れて取り組みたい。

◆ グリーン購入率の向上

コピー用紙・トイレトーパーについては、再生原料を使用した製品の購入率 100%を維持している。

◆ 化学物質の適正管理

全部署で適正に使用し保管管理している。化学物質を含む製品について MSDS を取り寄せて常時閲覧できる状態で、使用状況や在庫管理も記録している。

◆ 社会貢献・清掃活動実施

清掃活動は、それぞれの部署で自主的に実施するなど活動に対する意識が高まっている。次年度は部署ごとの年間スケジュールを組み、計画的に取り組んでいく。また、清掃活動以外にも社会貢献活動となるものを企画し実施していきたい。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

今回は概ね目標を達成という結果になり、非常に良かったと思います。

業務量の増加や慢性的な人手不足の状況にあったが、このような結果になったということは、皆の小さな努力の積み重ねがあったのだと思います。

エコアクションに取り組む際、全社一丸となった企業運営へつながることを期待していたところがあったが、それにまたひとつ近づいたのではないかと思います。

エコアクション委員の皆さん、そして協力してくれた社員の皆さん。本当にお疲れ様でした。

次年度も今年度同様、全社一丸となって取り組んでいきましょう。